

第 226 回

クラシックファンのためのコンサート

2021年 12月 9日(木) 大阪倶楽部 4階 ホール 午後7時開演

林 のぞみ ヴィオラリサイタル

ピアノ 黒瀬 紀久子



〈プログラム〉

コレッリ

ヴァイオリンソナタ

Op.5-No.12 ラ フォリア

(Arnold編 ヴィオラ版)

ヴェラチーニ

ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ

Op.2- No. 8

コンチェルトソナタ ホ短調

(Hermann 編 ヴィオラ版)

パガニーニ

大ヴィオラと管弦楽のためのソナタ

第226回は林のぞみ氏をお迎えし、ヴィオラリサイタルを行いました。プログラムはヴァイオリンの名手だったイタリアの3人の作曲家による作品でした。イベリア半島の舞曲に主題を得たコレッリの「ラ フォリア」、4楽章から成るヴェラチーニの「ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ」、初めはギター伴奏によるヴィオラのソロ曲だったパガニーニの「大ヴィオラと管弦楽のためのソナタ」でした。温かみを感じる落ち着いた深い音色や、時にオーケストラの役割を担うピアノとのアンサンブルも素晴らしく、あまりソロで聴く機会のないヴィオラを堪能しました。楽器の説明や作曲家のエピソードなどもユーモアたっぷりに話してくださり、さらに楽しく心に残る演奏会となりました。

〈ご来場者のアンケートより〉

- 1つのヴィオラと1台のピアノが競い合って生命と夢の世界へ導いてくれました。何とも暖かみのある心にしみる音楽を味わえて幸福に満たされました。
- はじめの2曲はヴァイオリンソナタをヴィオラで聴くことが出来、貴重な経験でした。ヴァイオリンよりも音が低く太い音で別の曲のようでしたが、大変楽しめました。パガニーニはヴィオラのためのこんな素晴らしい曲があるのを初めて知りました。アンコールも良かったです。
- ヴィオラの低音は魅力的で引き込まれました。パガニーニやヴェラチーニは初めて知りました。ガボットの音色が対話になっていて楽しめました。ピアノもダイナミックでお二人の掛け合いが素晴らしいと思いました。来年も期待しています！有難うございました。
- パガニーニは心にしみました。ヴァイオリンと異なり中音域の響きが硬化した心を徐々にほぐしてくれますね！



NPO法人 クラシックファンのためのコンサート

〒550-0025 大阪市西区九条南2丁目18番16号

TEL 080-4824-4001 FAX 06-7635-8590 WEB classicfan.jp MAIL contact@classicfan.jp